

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 2 6 日 更新

事務事業名		図書館施設維持管理事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	3	教育の健康					所属部	教育委員会	課長名	牧野 淳一	
	施 策	10	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	米村 大	
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備					所属班	生涯学習班	(内線)	1512	
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 10858	根拠法令					
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・図書館システム関係：図書館電算システムや利用者向けインターネット端末の維持管理。現在の図書館運営において電算システムは欠かせないものであり、開館時より運用している。合併に伴い、両町のシステムを統合した。蔵書の情報をインターネット上で公開しており、蔵書検索が可能である。合併時に導入した図書館システムの更新を平成 25年3月に行い、サーバー方式からクラウド方式へ変更した。また、平成 30年3月にシステム及び機器の更新を実施し、学校図書館システムと切り離された。 ・その他：図書館施設の維持管理に努め、必要な修繕・工事、備品購入等を行う。 ※令和5年度より「図書館電算システム維持管理事業」と「図書館施設維持管理事業」を統合
【業務の流れ】	・図書館システム関係：システム会社と図書館（指定管理）との調整。システム更新業務（協議・契約等） ・その他：仕様書作成→競争入札の実施→完了検査
【主な予算費目】	修繕費、施設修繕費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費
【意見や要望】	図書館システム更新に際し新機能を追加したことで、さらなる図書館サービスの充実が図ることができる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 【目的】円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働を図る。より多くの利用者に安全・快適に利用してもらう。 【内容】図書館施設の維持管理に努め、必要な修繕・工事を行う。 【実績】西合志図書館の空調更新設計、外壁タイル浮き補修及び屋上防水修繕、西合志・ウィーブル図書館の移動棚修繕を実施した。 【成果】修繕工事などを行い、円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働が図れた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) システムの安定稼働のための保守契約を行う(令和6年度から新システム導入)。西合志図書館の空調・照明設備改修工事を行う。電子図書システムを導入する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア 登録者数	人	【拡充事業】西合志図書館空調・照明設備改修工事による工事請負費の増
イ 蔵書数(視聴覚・雑誌含む)	点	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
図書館利用者		→ ア 利用者数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働を図る。より多くの利用者に安全・快適に利用してもらう。		→ ア 施設維持管理上不具合・トラブル件数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
維持管理の事業のため不具合等の件数とした。		全体計画
経年により前年度目標と同程度と予想した。		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア 人	25,499	25,861	33,000	27,663	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
	イ 点	342,012	343,179	350,000	340,710	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000
② 対象指標	ア 人	80,523	79,761	90,000	81,034	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000
	イ									
③ 成果指標	ア 件	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	413						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円			3,200	3,000	88,100		
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	413	1,499	6,214	5,409	20,276	9,415	9,415
	(A) 事業費計		千円	826	1,499	9,414	8,409	108,376	9,415	9,415
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	3	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	365	365	365	515	365	365	365
	(B) 人件費計		千円	1,427	1,389	1,454	1,875	1,454	1,454	1,454
トータルコスト(A)+(B)			千円	2,253	2,888	10,868	10,284	109,830	10,869	10,869

事務事業名	図書館施設維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 修繕工事などを行い、円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働が図れた。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 SE と図書館職員との定例会を月に 1 回行うなど連携体制をとり、不具合やシステムの修正等も早めに対応してもらうことでトラブルが回避できる。また、適正な施設修繕を行う。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 公共施設等総合管理計画に基づく、個別計画策定後、計画的な改修を実施することにより公共施設の適正管理が実現できる。ただし、施設及び設備の老朽化が進んでいるため、早期の対応が望まれる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する事務事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入と公共施設のマネジメントを同時に進めることで経費削減の余地あり。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により、市として最低限の人件費（モニタリング、大規模修繕等）であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 図書館システムを安定稼働させ、利用者が安全で快適に読書活動や情報収集をするための事業であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共施設であり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

公共施設等総合管理計画に基づく、個別計画策定後、計画的な改修を実施することにより公共施設の適正管理が実現できる。ただし、施設及び設備の老朽化が進んでいるため、早期の対応が望まれる。
--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												